

大里地区 役員・理事研修会

9月7日(日) 10:30より寄居町鉢形城公園周辺を散策しながら現地研修会が行われました。指導者として、寄居町教育委員会生涯学習課主幹兼鉢形城歴史館長の宮下 響子氏をお招きし、1476(文明8)年に長尾景春が築城したと言われる鉢形城の歴史や特徴について詳しく説明していただきました。集合場所の「大型休憩施設」(集合写真参照)は、太い柱と梁が印象的な広い空間に、9月にも関わらず強い日差しの中でも涼しい風が吹き、暑さを忘れるひと時となりました。

鉢形城公園は、県指定名勝である玉淀河原の東に接し、東京ドーム6個分の広さがあり公園内を流れる深沢川の清流や樹木が茂る急峻な崖など、往時を偲ばせる多くの遺構が野外に点在しています。

私たちは先ず、平成16年に開館した「鉢形城歴史館」で展示品や映像による鉢形城の歴史を概観しました。入り口にはVRゴーグルを使った鉢形城復元360°CG体験できる装置があり、階下に降りると常設展示の「鉢形城ワープステージ」で、当時の集落を含めた鉢形城の1/250復元模型を前に動画を見学し、当時の様子を映像と説明で理解を深めました。

次に公園内を散策しながら「土塁」や、城の区画を表す「曲輪^{くわ}」、発掘の成果である遺構の数々を説明していただきました。石積土塁、曲輪間の堀、樹齢180年の町指定天然記念物「エドヒガン」(「氏邦桜^{うじくに}」の愛称で親しまれている)などを身近に感じる機会となりました。鉢形城に興味のある方は、是非お立ち寄りください。

